



# 2023年12月期 通期 決算説明資料

株式会社ワイヤレスゲート  
(証券コード：9419)



- 1 当社について**
- 2 通期決算の概要**
- 3 参考資料**



# 1

## 当社について

## ▶▶▶ 会社概要

## Our Purpose

イマジネーションとつなげる力で  
社会に、そして未来に  
「あって良かった」を届ける

## Our Vision

社員に感動を  
社会に笑顔を



会社名  
株式会社ワイヤレスゲート



事業内容  
1. ワイヤレスゲートWi-Fiサービス  
2. リモートライフサポートサービス  
3. 地方DXプラットフォームサービス



代表者  
代表取締役社長CEO 濱 暢宏



従業員  
28名 (2023年6月末時点)



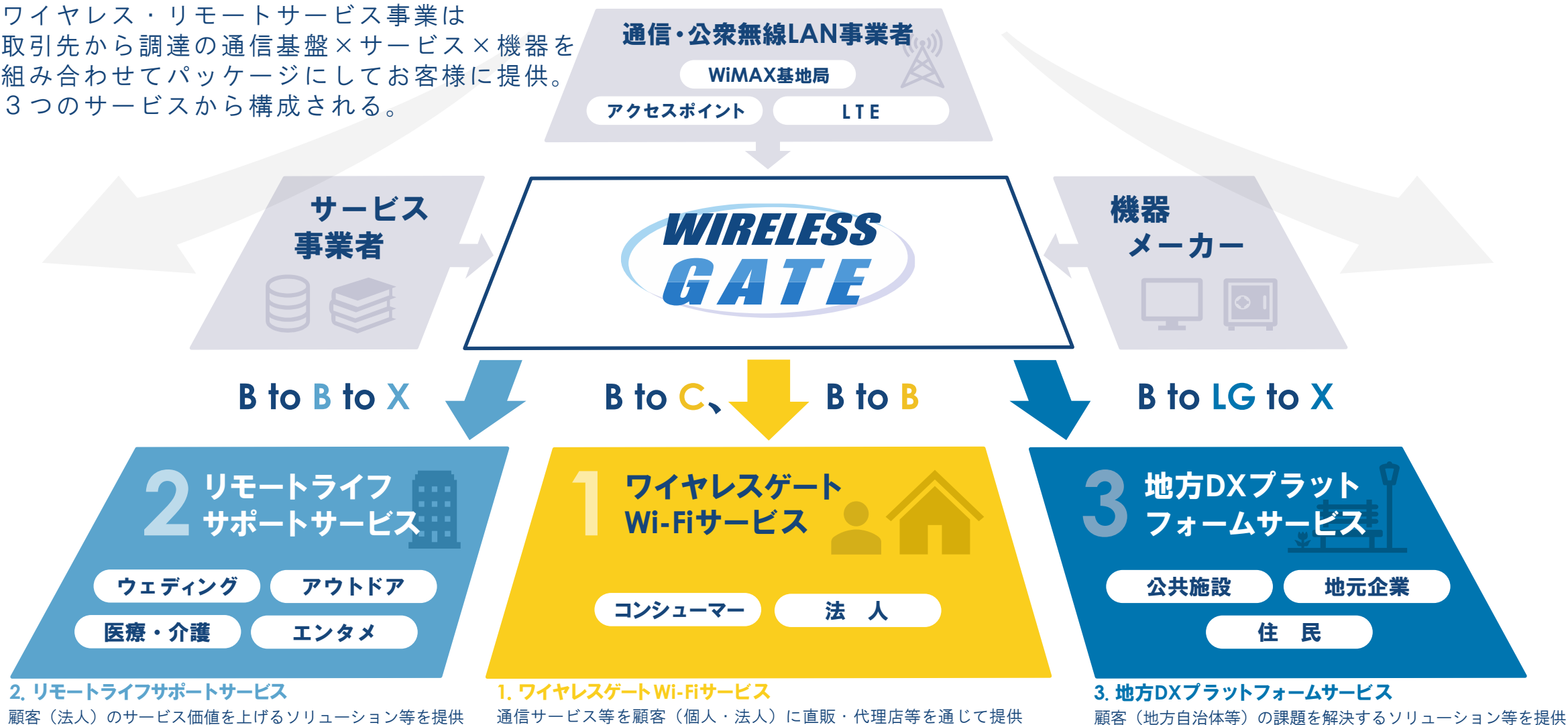
設立  
2004年1月



資本金  
908百万円 (2023年6月末時点)

# ワイヤレス・リモートサービス事業の構成

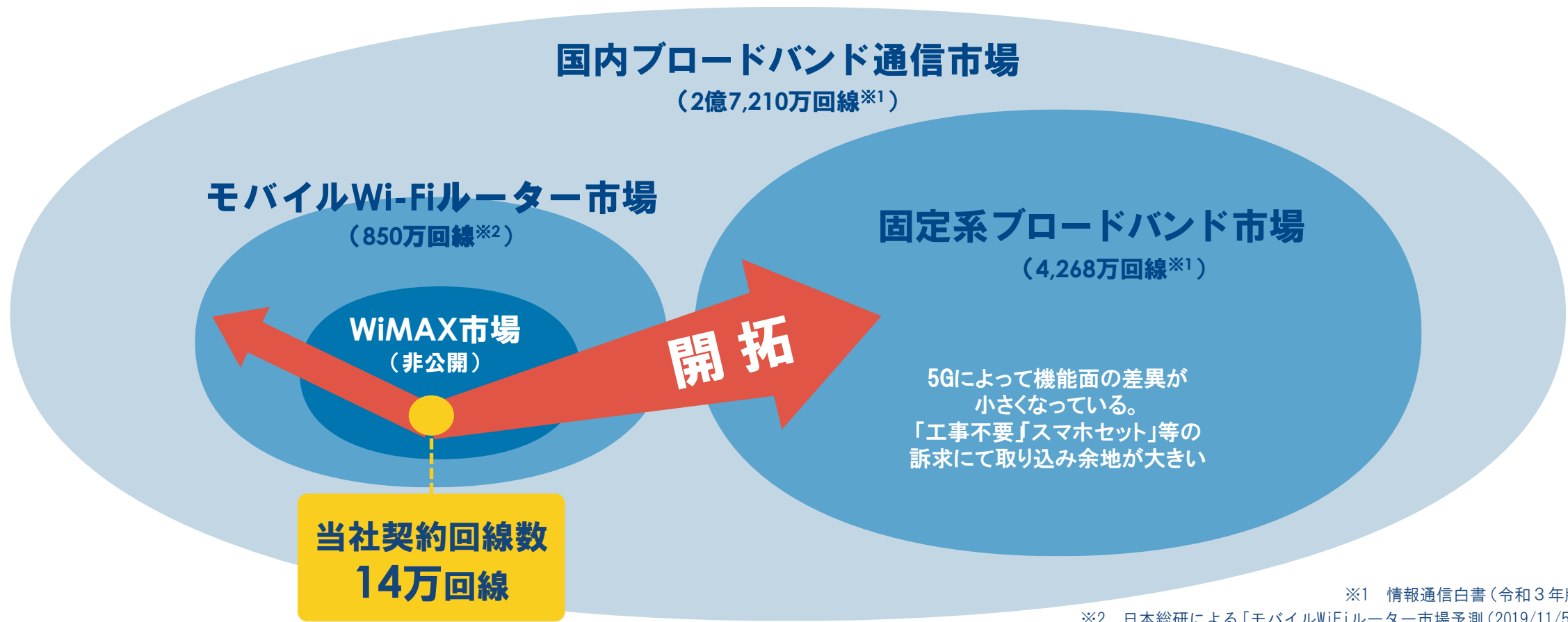
ワイヤレス・リモートサービス事業は取引先から調達した通信基盤×サービス×機器を組み合わせてパッケージにしてお客様に提供。3つのサービスから構成される。





# 当社の市場環境 - 開拓市場

モバイルWi-Fiルーター市場850万回線に留まらず、固定系ブロードバンド市場4,268万回線を含む5,000万回線超の市場が当社開拓ターゲットであり、事業機会は拡大している。



※<sup>1</sup> 情報通信白書(令和3年版)

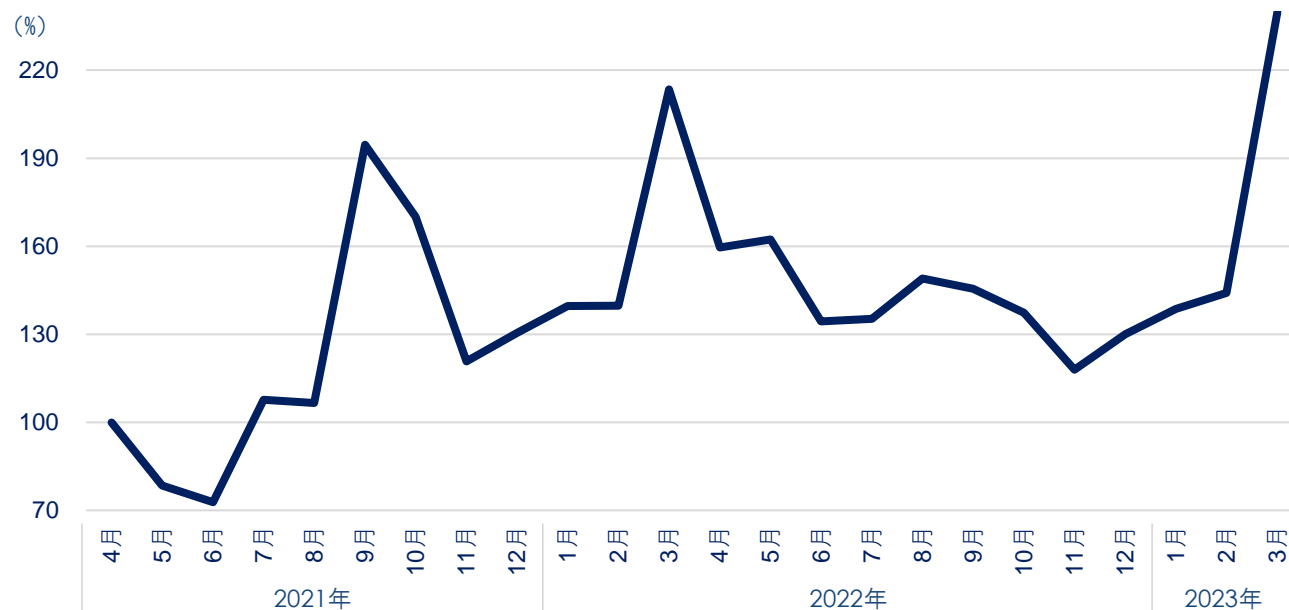
※<sup>2</sup> 日本総研による「モバイルWi-Fiルーター市場予測(2019/11/5)」

# 当社の市場環境 - 開拓市場の市場規模

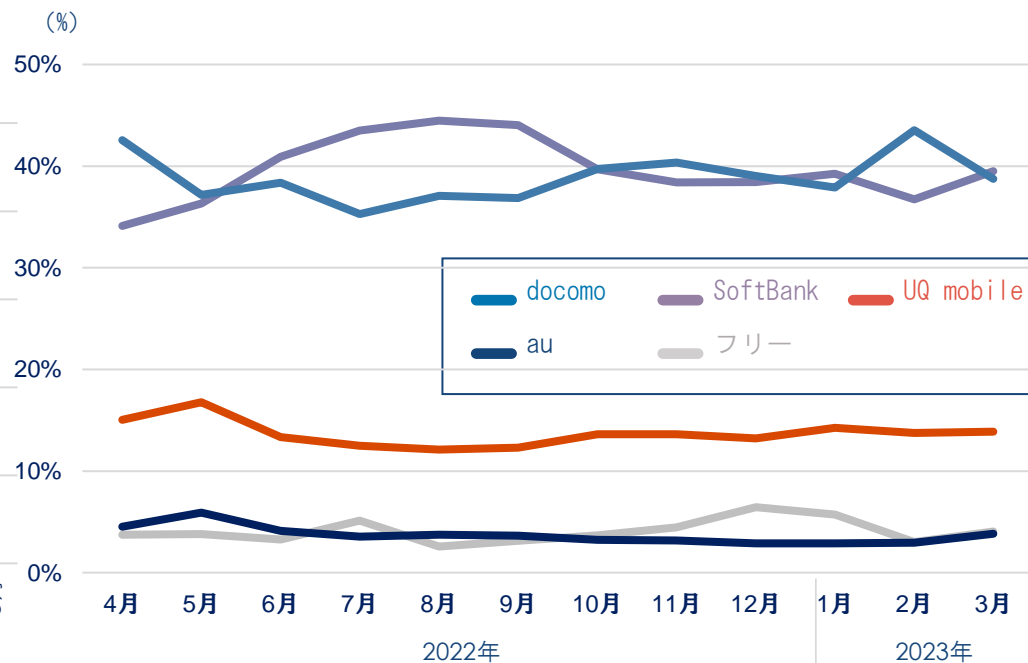
2021年からホームルーター（モバイル回線を使用して自宅にインターネット環境を構築する端末）販売数が順調に増加。2021年4月から2年後の2023年3月単月の市場規模は230%に拡大。  
 WiMAX（UQ mobile）は、TV CM・YouTubeを始めとするWEB CMなどの認知度向上により、キャリア別販売台数No. 3からのシェアアップを見込む。

【ホームルーター販売台数指数（2021-23年）】 [BCNランキング（2023/4/28）]

※指数：21年4月の販売台数を「100」として算出



【キャリア別販売台数シェア（2022-23年）】 [BCNランキング（2023/4/28）]



# 当社の市場環境 - Wi-Fiルーターの市場規模

電気通信事業市場の売上高は15兆円で横ばい。Wi-Fiルーター市場は、ホームルーターが牽引して2021年度から拡大。2025年度には1.1兆円の市場規模になると予測。

総市場 (TAM)

電気通信事業

**14.9** ※1  
兆円

ターゲット市場 (SAM)

Wi-Fiルーター (モバイルルーター/ホームルーター) 市場

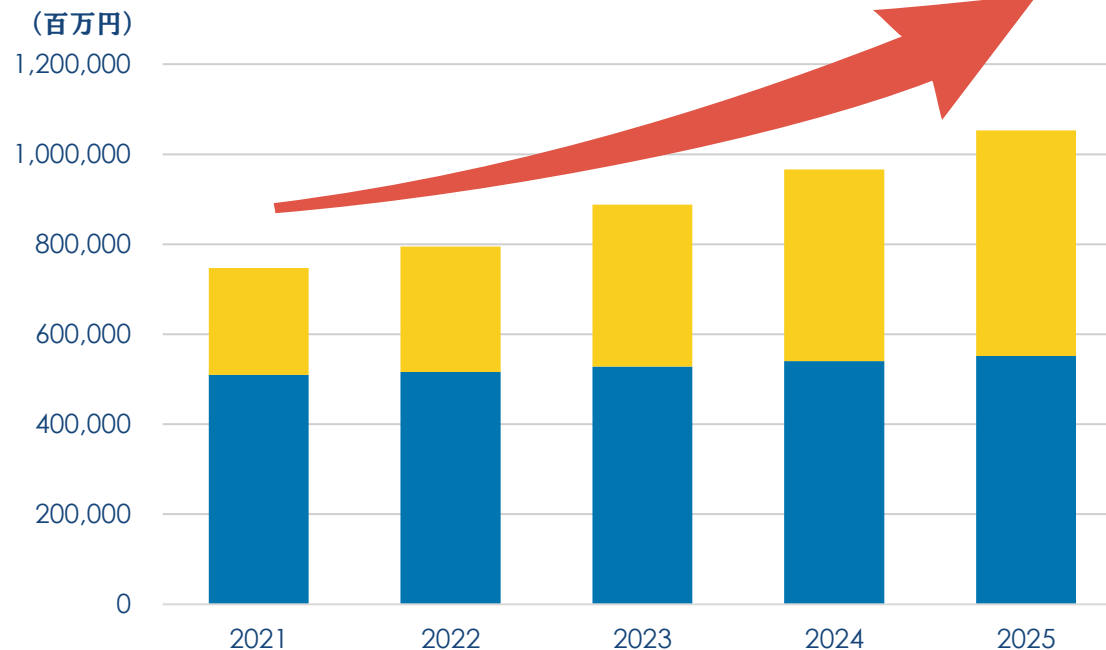
**1.1** ※2  
兆円

コアターゲット市場 (SOM)

ワイヤレスゲートWiMAX市場

**3,000** ※3  
億円

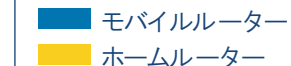
[ターゲット市場 (Wi-Fiルーター市場) の当社予測]



※1 情報通信白書(令和3年版)

※2 日本総研「モバイルWiFiルーター市場予測(2019/11/5)」とMM総研「ブロードバンド回線事業者の加入件数調査(2021年3月末時点)」から当社作成

※3 2021年3月末の総務省調査からKDDIのシェア(27.1%)からSOMを算出





# 2

## 通期決算の概要



## エグゼクティブ・サマリー

**売上高、利益は期初の通期予想を達成。増益にて財務基盤も改善。**

**WiMAXは2年連続純増。SIM販売強化にて昨対比1.8倍に拡大。**

- 1** 売上高は8,483百万円（通期予想達成率102.0%）、営業利益は224百万円（通期予想達成率107.1%）、経常利益は225百万円（通期予想達成率110.3%）、当期純利益は241百万円（通期予想達成率164.6%）と通期予想をいずれも達成。
- 2** アセットライト経営継続と2年連続の増益により、財務の安全性向上と収益性拡大の両立にて、財務基盤は着実に改善。
- 3** 主力WiMAXは2年連続の単年純増を達成。プリペイド型SIM販売が昨対比1.8倍に拡大。

# 通期決算 業績概要

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益は通期予想をいずれも達成。

(単位：百万円) ※百万円未満は切り捨て	※参考 2022/12期 通期実績 (前期)	2023/12期 通期実績 (今期)	※参考 前年同期比較		2023/12期 通期	
			増減額	増減率	通期予想	達成率
売上高	8,531	<b>8,483</b>	△47	△0.6%	8,318	102.0%
売上総利益	4,265	<b>4,005</b>	△259	△6.1%	-	-
売上総利益率	50.0%	<b>47.2%</b>	-	-	-	-
営業利益	191	<b>224</b>	33	17.4%	209	107.1%
経常利益	188	<b>225</b>	37	19.8%	204	110.3%
当期純利益	195	<b>241</b>	45	23.1%	146	164.6%

※2023年12月期から非連結決算に移行したため、2022年12月期通期実績（前期）及び前年同期比較は単体の前事業年度と比較しております。

# 売上高・粗利率の四半期別推移

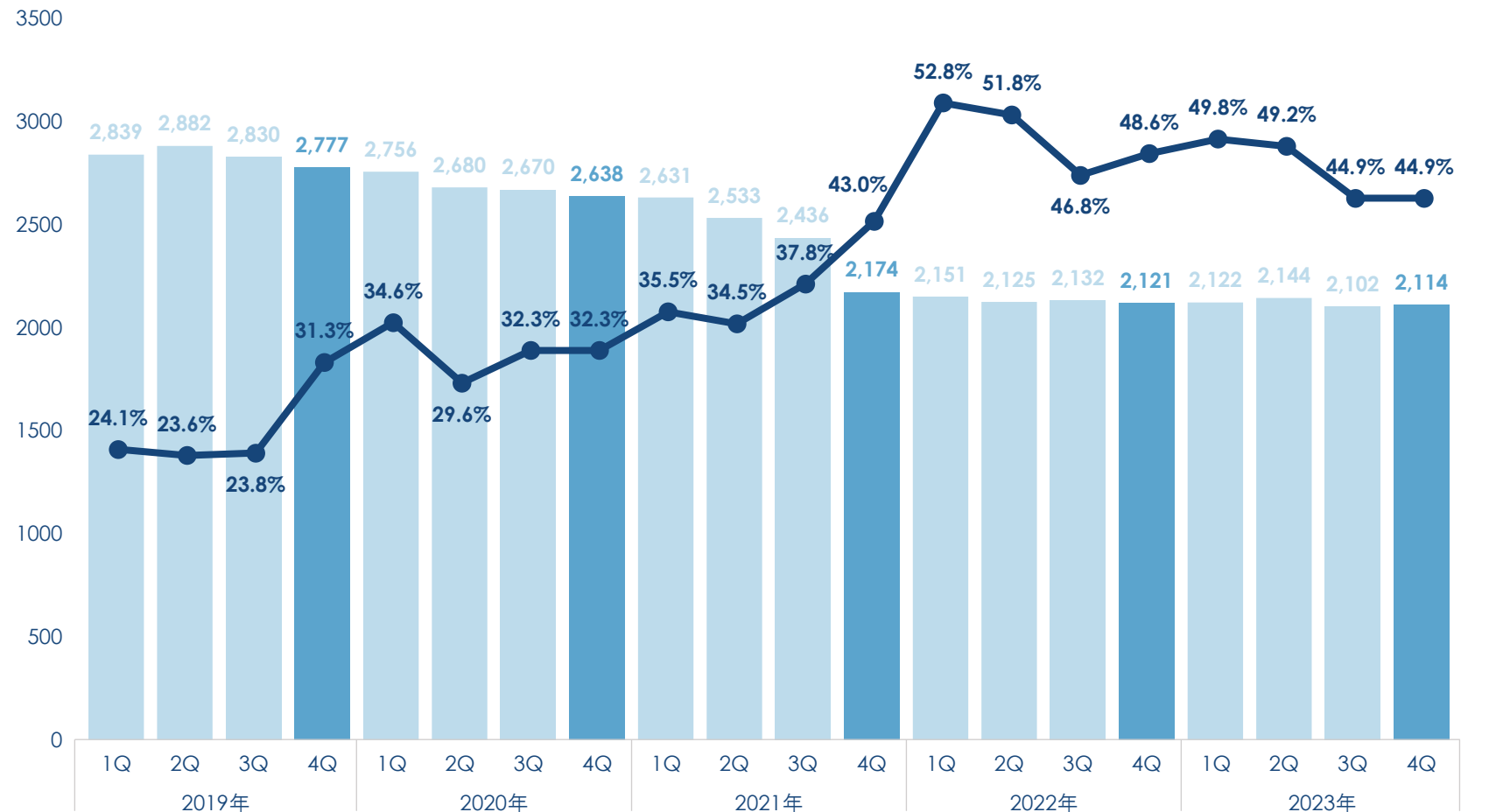
## <売上高>

売上高は年間を通じて横ばい維持。

## <粗利率>

売上総利益率（粗利率）は前四半期から横ばい維持。通信キャリア連動の取り組みの抑制が継続。

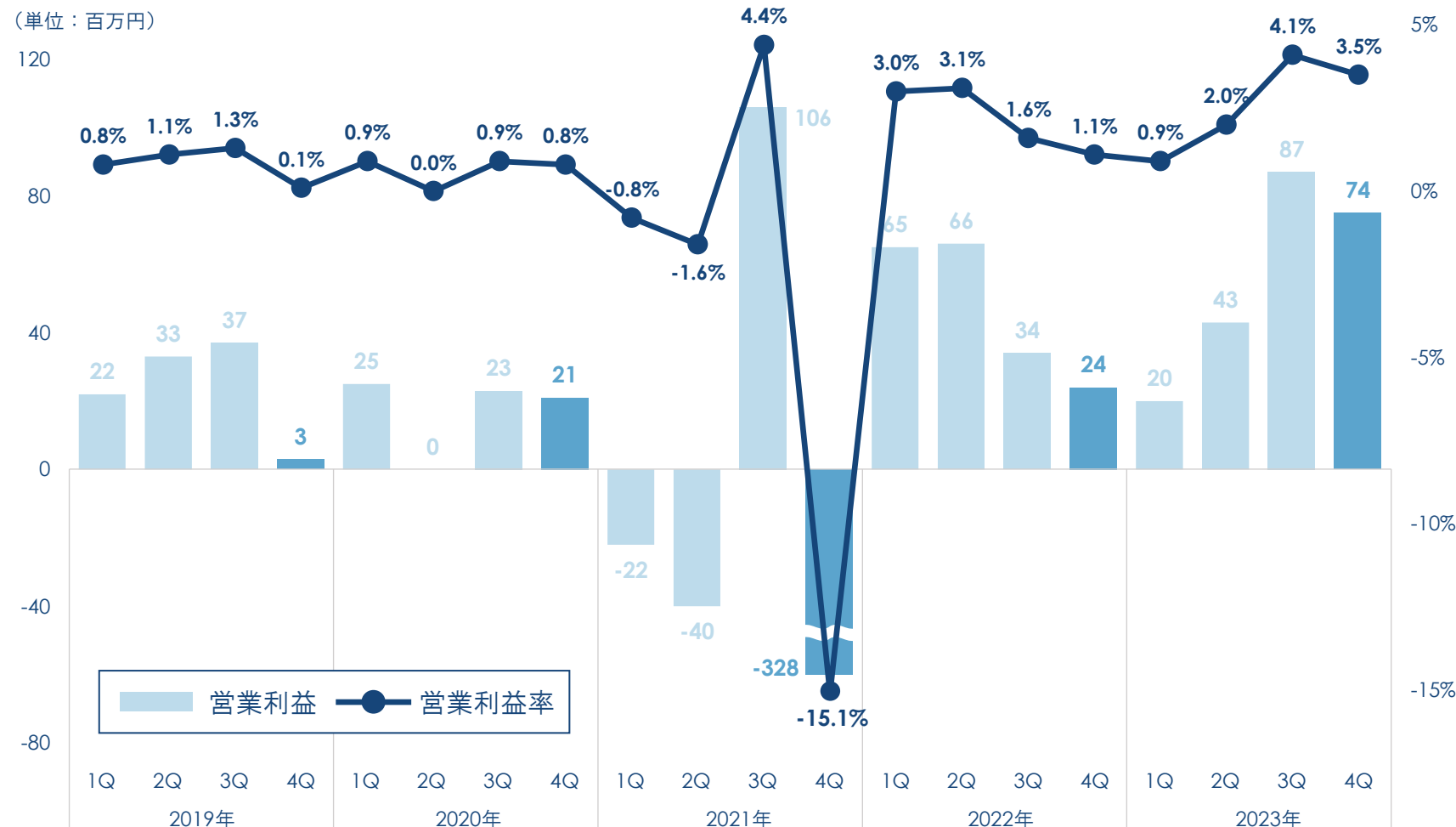
(単位：百万円)



# 営業利益・営業利益率の四半期別推移

## <営業利益・営業利益率>

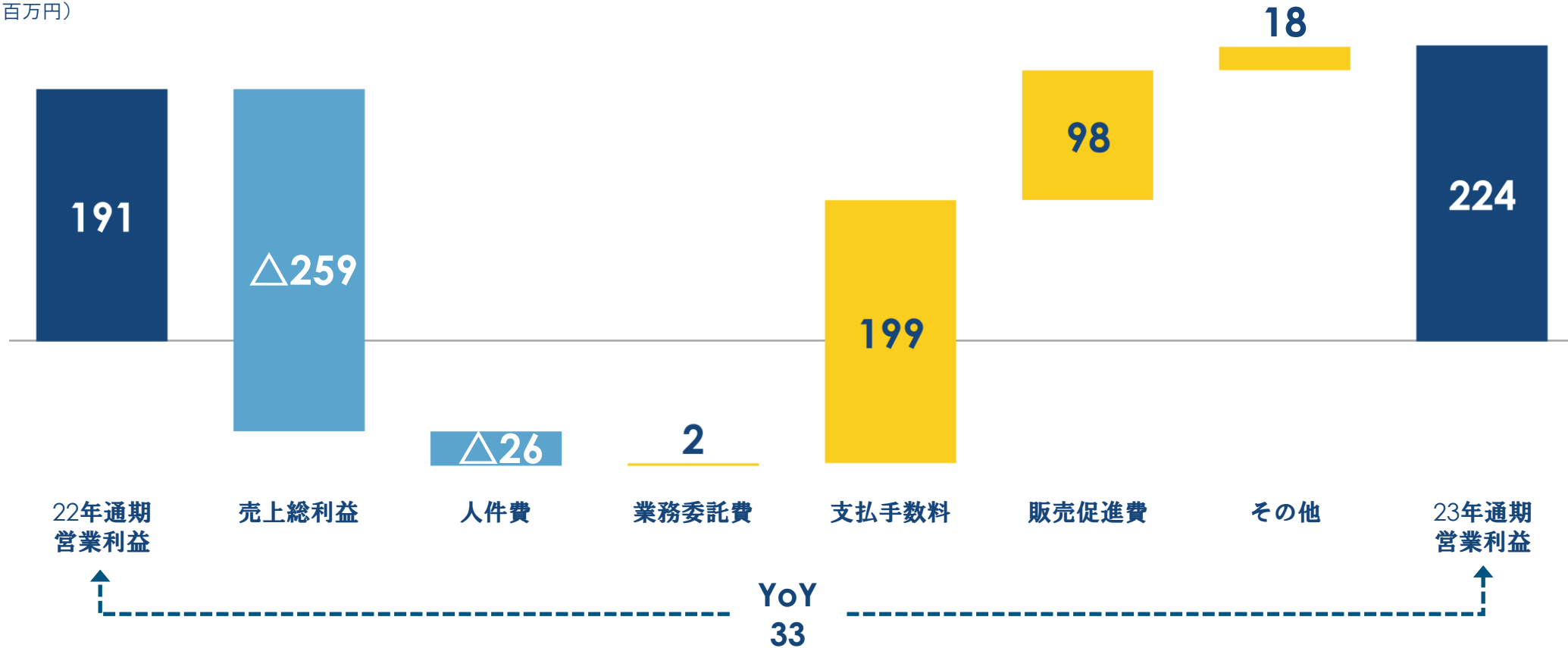
営業利益は、販売管理費の適切なコントロールにより、販売手数料が減少したこと、及び固定費削減の取り組みが効果を出した。



# 営業利益の増減要因

売上減少及び売上原価増加（主に通信キャリア連動の取り組み減少）によって売上総利益が減少したが、支払手数料、販売促進費等のコスト軽減に取り組み、期初計画を超える営業利益となった。

（単位：百万円）





# 2023年12月期の見通し

## <売上高>

売上高は四半期で横ばいの推移を計画。  
 期初計画達成（達成率102.0%）。

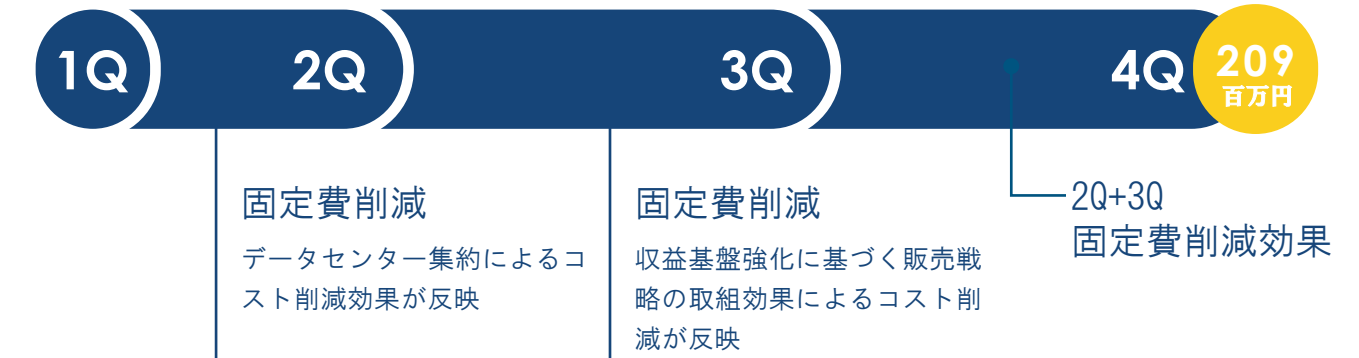
**売上高**  
 達成率/見通し



## <営業利益>

営業利益は固定費削減等の効果により、後半増加の計画。  
 第1四半期から計画通り進捗。第4四半期も固定費削減の効果継続により、通期にて期初計画達成（達成率107.1%）。

**営業利益**  
 達成率/見通し



# 財務基盤の改善進捗

安全性と収益性の指標が改善。今後の成長に向けて財務基盤は改善。

## [安全性]

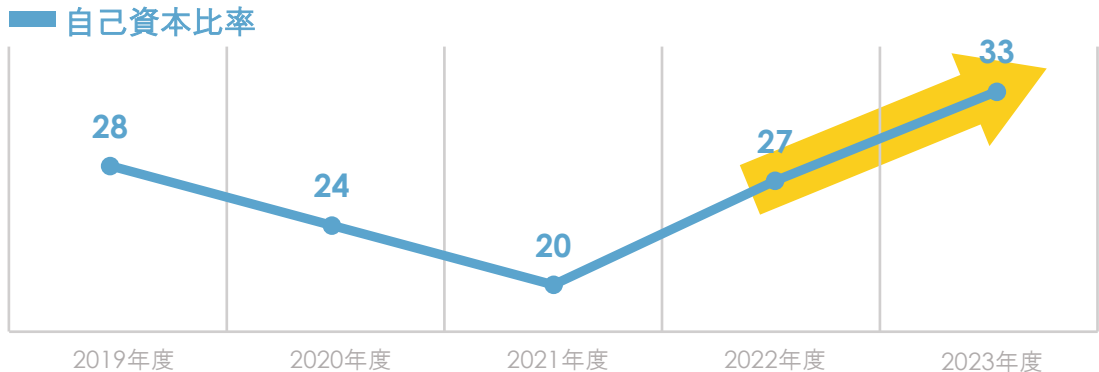
安全性は順調に改善している。

現預金の増加等による流動資産の増加と短期借入金の返済等による流動負債の減少によって流動比率は改善。借入金の減少等と利益剰余金の増加等によって自己資本比率も改善している。

### 流動比率



### 自己資本比率



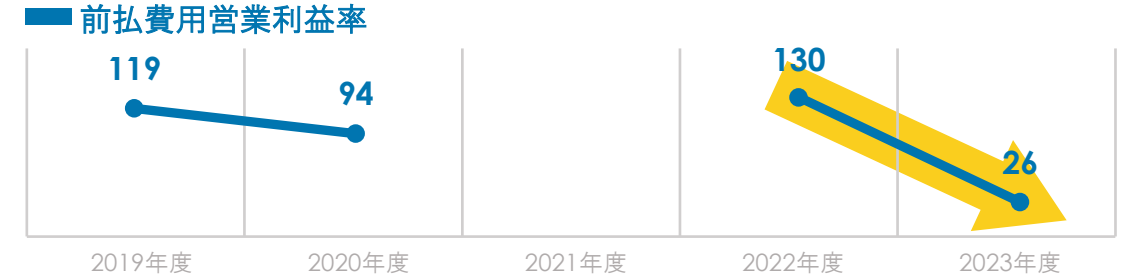
## [収益性]

収益性は順調に改善している。

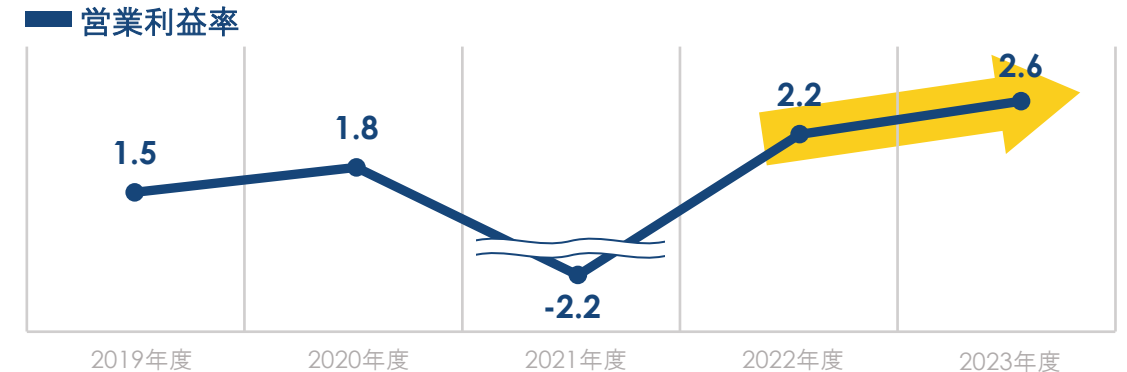
営業活動の合理化によって前払費用（1年以内に費用計上となる科目）が減少。営業利益に対する前払費用の比率は健全化している。

営業利益率は、2.6%まで拡大。

### 前払費用営業利益率



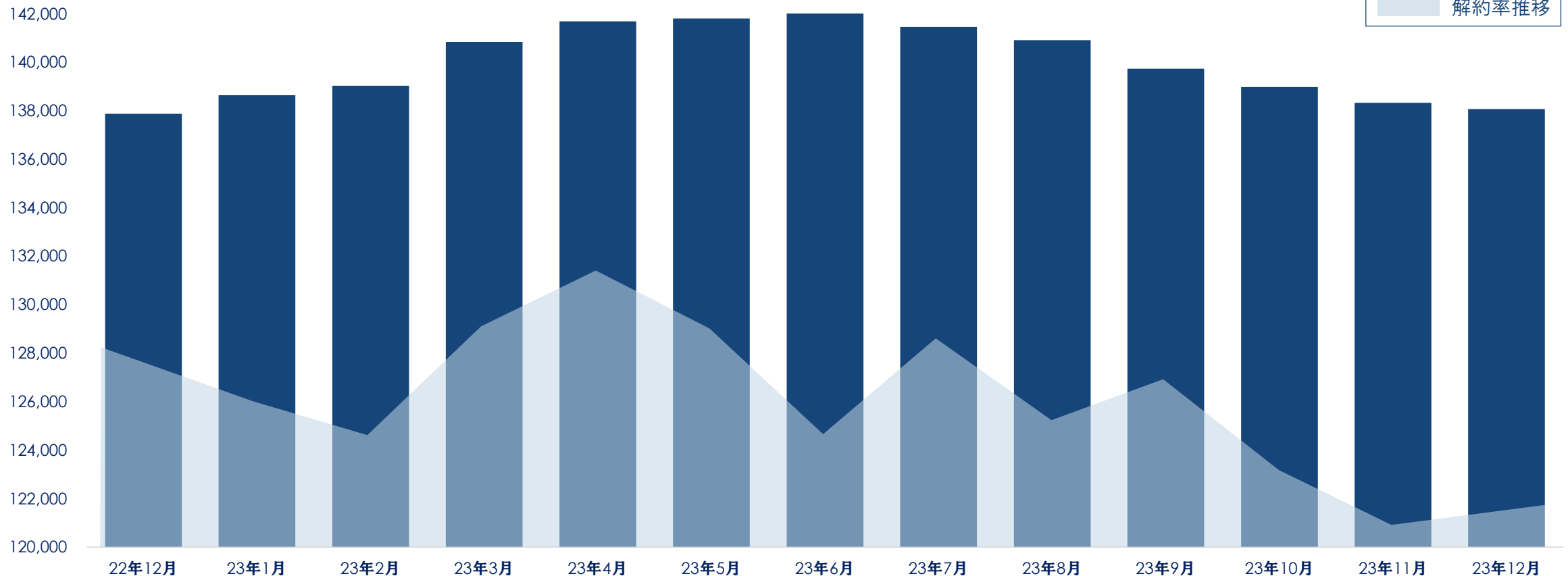
### 営業利益率



# WiMAX契約者数の進捗

第3四半期に続いて法人顧客の解約、収益性を重視した営業活動強化のため契約者数は伸び悩んだ。しかしながら、解約率は高水準で推移し、単年における契約者数の純増は達成。

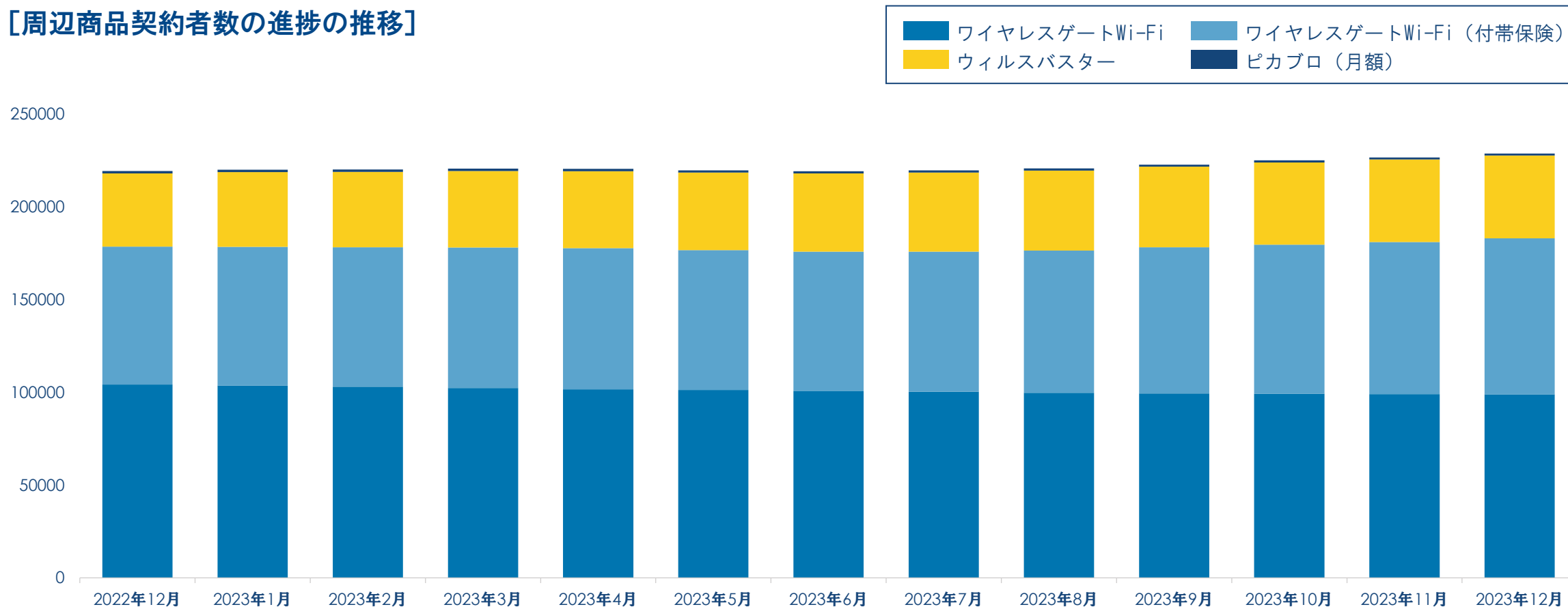
[WiMAX契約者数の推移]



# 周辺商品契約件数の進捗

周辺商品の契約件数は堅調に推移し、2023年12月時点での契約件数は23万件の目前に達した。  
粗利率、収益性が高いサービスであり、クロスセルによる販売力強化で引き続き契約件数の積み上げを目指していく。

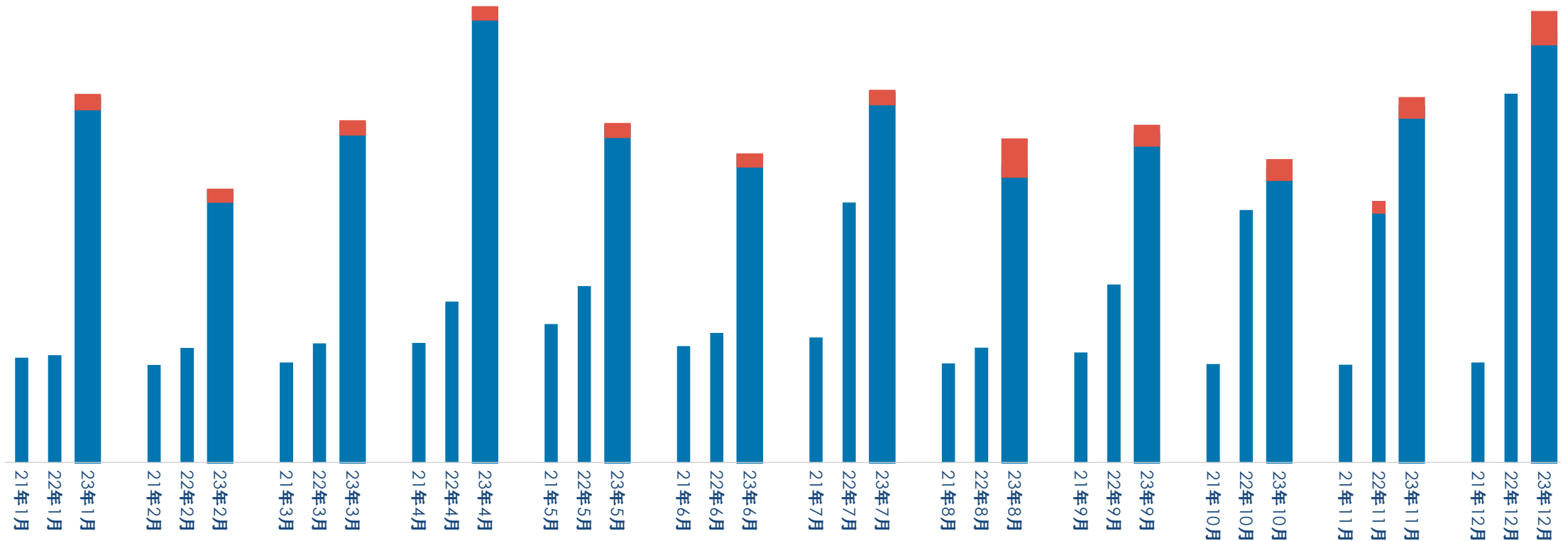
## 【周辺商品契約者数の進捗の推移】



# プリペイドSIM商品の進捗

プリペイドSIMの販売数は、訪日外客数の回復に合わせて前年比1.8倍と大幅増加。顧客の需要にきめ細かく応える9つの新プラン（無制限プラン：2プラン、短期定容量プラン：7プラン）の提供により、更なる販売拡大を目指す。

[SIM販売実績の過去3年の月次推移]



# 3

## 參考資料





# マネジメントチーム

▶▶▶ 異なるバックグラウンドで培った強みを補完しあうマネジメントチーム



代表取締役社長CEO

## 濱 暢宏

*Nobuhiro Hama*

- 1998年 東北大学工学部情報工学科卒業
- 1998年 シャープ株式会社入社
- 2014年 日本交通株式会社 総務財務部長
- 2016年 Japan Taxi株式会社（現：GO（株））  
取締役COO
- 2018年 大国自動車交通株式会社 代表取締役社長
- 2019年 株式会社フォーキャスト（現：（株）ヨーク）  
経営企画GM
- 2020年 当社 執行役員新規事業本部長
- 2021年 当社 代表取締役社長CEO

取締役CFO兼CAO

## 原田 実

*Minoru Harada*

- 1990年 マニファクチュラーズ・ハノーバー銀行  
（現：JPモルガン・チェース銀行） 入行
- 1997年 株式会社NEC総研（現：NECマネジメントパートナー（株））  
EC担当専任研究員
- 1998年 ライコスジャパン株式会社（現：楽天グループ（株））  
WEBプロデューサー
- 1999年 株式会社ライブドア（現：NHNテコラス（株））  
コンテンツ担当ディレクター
- 2000年 株式会社シープロド 専務取締役COO
- 2004年 当社設立 取締役COO

取締役COO執行役員 営業本部長兼新規事業本部長

## 成田 徹

*Toru Narita*

- 1998年 DDIポケット株式会社（現：ソフトバンク（株））入社
- 2010年 当社入社
- 2014年 当社 営業本部長
- 2015年 当社 執行役員営業本部長
- 2020年 当社 取締役執行役員営業本部長
- 2021年 当社 新規事業本部長 兼任

# 社外取締役

▶▶▶ 経験と実績豊かな独立社外取締役、監査等委員によるコーポレートガバナンス

取締役（社外・監査等委員）

**西 康宏** *Yasuhiro Nishi*

元 株式会社インターネットイニシアティブ 取締役CFO  
元 株式会社オークネット 取締役経営管理部門長  
元 日本ベリサイン株式会社（現：デジサート・ジャパン（同））取締役副社長兼CFO  
MySkin株式会社 代表取締役  
TAK-Circulator株式会社 代表取締役CEO

取締役（社外・監査等委員）

**渡邊龍男** *Tatsuo Watanabe*

株式会社オールアバウト 社外取締役（監査等委員）  
株式会社オールアバウトライフマーケティング 監査役  
株式会社インターネットインフィニティー 監査役  
株式会社セルム 社外取締役（監査等委員）  
株式会社CAC Holdings 社外取締役  
株式会社ORJ 社外取締役

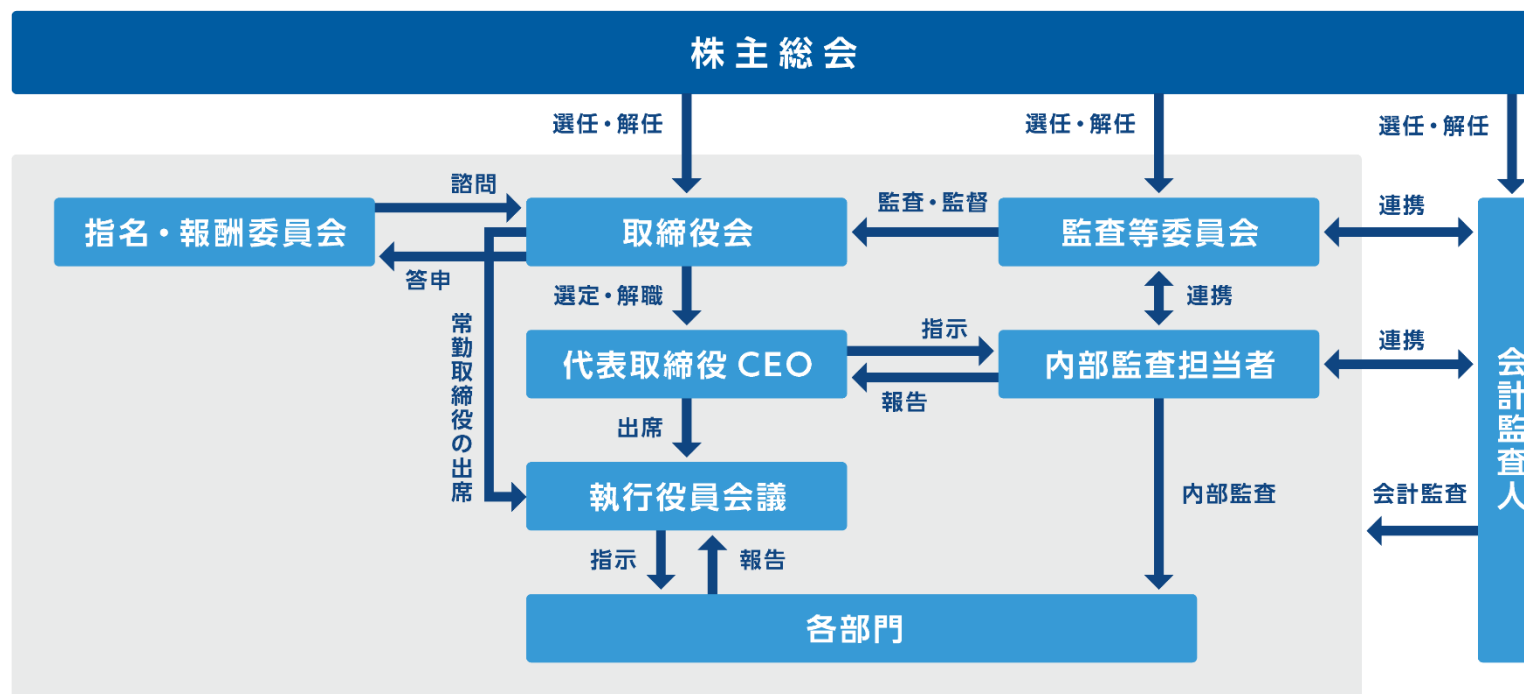
取締役（社外・監査等委員）

**江口真理恵** *Marie Eguchi*

祝田法律事務所 弁護士  
株式会社サイゼリヤ 社外取締役（監査等委員）

# コーポレートガバナンス体制

- ▶▶▶ 取締役総数6名、独立社外取締役（監査等委員）3名、うち女性取締役1名  
指名・報酬委員会において、取締役構成・報酬構成を審議。取締役会の客観性を高め、コーポレートガバナンスの充実を図る



## 本資料の取り扱いについて

- 本説明会及び資料に記載された業績見通し等に関する記述は、発表日時点での当社の判断に基づくもので、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績と異なる可能性があることをご了承ください。
- これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

